

2 就労に関する事項

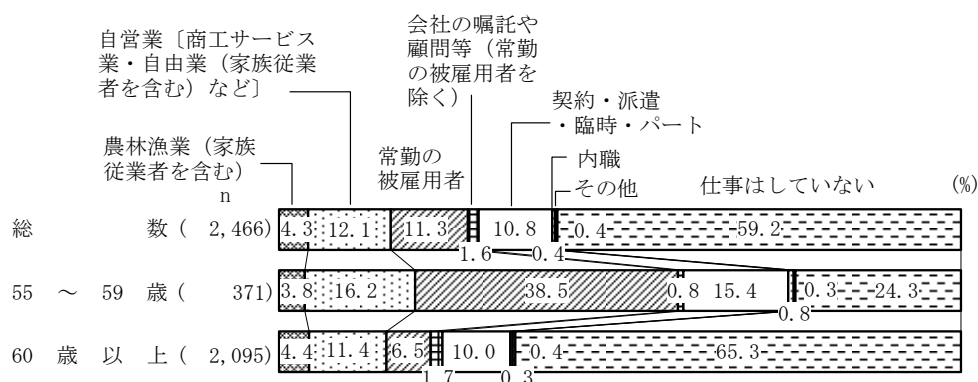
(1) 現在の職業(Q3)

「現在、収入のある仕事をしているか」尋ねてみると、総数では「仕事はしていない」が59.2%となっており、仕事の内容は「農林漁業」が4.3%、「自営業」が12.1%、「常勤の被雇用者」が11.3%、「会社の嘱託や顧問等」が1.6%、「契約・派遣・臨時・パート」が10.8%、「内職」が0.4%などになっている。

55～59歳では「仕事はしていない」が24.3%となっており、仕事の内容は「農林漁業」が3.8%、「自営業」が16.2%、「常勤の被雇用者」が38.5%、「会社の嘱託や顧問等」が0.8%、「契約・派遣・臨時・パート」が15.4%、「内職」が0.8%などになっている。

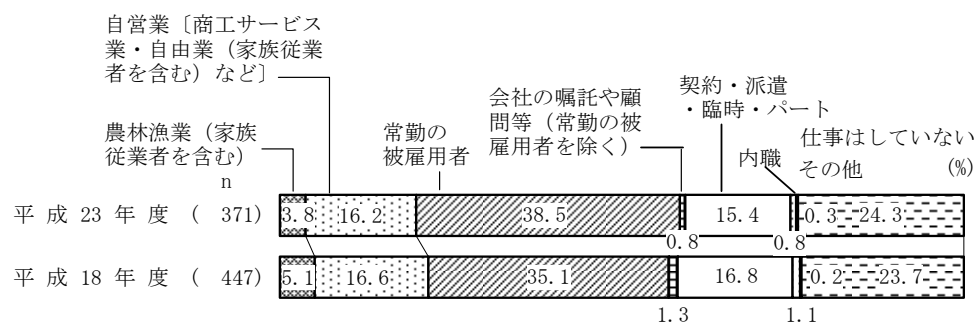
60歳以上では「仕事はしていない」が65.3%となっており、仕事の内容は「農林漁業」が4.4%、「自営業」が11.4%、「常勤の被雇用者」が6.5%、「会社の嘱託や顧問等」が1.7%、「契約・派遣・臨時・パート」が10.0%、「内職」が0.3%などになっている。

図2-1-1 現在の職業(Q3)



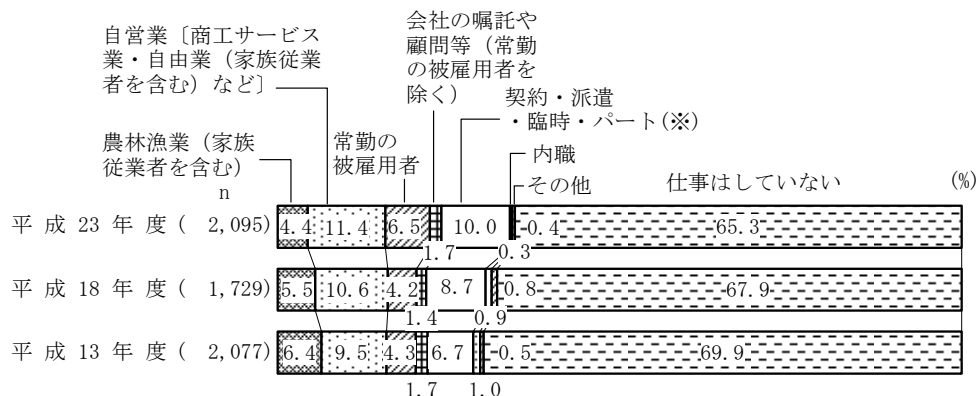
55～59歳を前回調査と比較すると、「常勤の被雇用者」の割合がやや増加しているが、全体的にはあまり差はみられない。

図2-1-2 現在の職業(Q3) (前回比較、55～59歳)



60歳以上を時系列でみると、「自営業」、「契約・派遣・臨時・パート」の割合は増加傾向がみられる。一方、「仕事はしていない」割合は減少傾向がみられる。

図2-1-3 現在の職業(Q3)(時系列比較、60歳以上)



(注) (※)平成13年度は「臨時・パート」

〈総数〉(表2-1-1)

都市規模別にみると、『仕事あり(計)』の割合は小都市(46.0%)で高くなっている。

性別にみると、『仕事あり(計)』の割合は女性(31.1%)より男性(51.8%)で高くなっている。

年齢別にみると、『自営業者、家族従業者(計)』は60歳代までは1割半ば前後を占め、大きな変化はみられない。一方、『被用者(計)』は55~59歳(55.8%)から60~64歳(40.1%)で15.7ポイント減少し、更に65~69歳(20.7%)では、55~59歳と比べて35.1ポイント低下している。

〈55~59歳〉(表2-1-2)

都市規模別では、大きな差はみられない。

性別にみると、『仕事あり(計)』の割合は女性(61.3%)より男性(92.4%)で高くなっている。「常勤の被雇用者」(男性62.8%、女性17.6%)、「自営業」(男性21.5%、女性11.6%)は、女性より男性で高く、「契約・派遣・臨時・パート」は男性(3.5%)より女性(25.6%)で高くなっている。

〈60歳以上〉(表2-1-3)

都市規模別では、大きな差はみられない。

性別にみると、『仕事あり(計)』の割合は女性(25.6%)より男性(44.7%)で高くなっている。「自営業」は男性(15.6%)と女性(7.6%)で8ポイントの差がある。

表 2-1-1 現在の職業(Q3)

(%)

総数	農林漁業 (家族従業者を含む)	自営業 〔商工 サービス 業・自由 業(家族 従業者を 含む)な ど〕	常勤の被 雇者	会社の嘱 託や顧問 等(常勤 の被雇者 を除く)	契約・派 遣・臨 時・パー ト	内職	その他	仕事はし ていない	自営業 者、家族 従業者 (計)	被用者 (計)	仕事あり (計)	
【総数】	2,466	4.3	12.1	11.3	1.6	10.8	0.4	0.4	59.2	16.4	24.5	40.8
〔都市規模〕												
大都市	525	2.1	13.1	10.5	1.3	10.1	-	0.4	62.5	15.2	22.3	37.5
中都市	1,020	2.1	11.7	11.5	2.3	11.6	0.4	0.5	60.1	13.7	26.2	39.9
小都市	632	8.7	13.3	12.2	0.9	10.3	0.6	-	54.0	22.0	24.1	46.0
町村	289	6.6	9.0	10.4	1.0	10.4	0.7	0.7	61.2	15.6	23.2	38.8
〔性別〕												
男性	1,162	5.2	16.4	17.3	2.8	9.6	0.1	0.4	48.2	21.6	30.2	51.8
女性	1,304	3.5	8.2	6.0	0.5	11.8	0.7	0.3	68.9	11.7	19.3	31.1
〔年齢別〕												
55～59歳	371	3.8	16.2	38.5	0.8	15.4	0.8	0.3	24.3	19.9	55.8	75.7
60～64歳	584	3.9	14.2	17.8	3.1	18.7	-	0.5	41.8	18.2	40.1	58.2
65～69歳	483	4.1	16.4	5.0	1.4	13.3	0.6	0.4	58.8	20.5	20.7	41.2
70～74歳	435	5.7	8.5	1.8	1.1	6.0	0.5	0.7	75.6	14.3	10.1	24.4
75～79歳	343	4.1	8.2	-	0.9	2.6	0.6	-	83.7	12.2	4.1	16.3
80歳以上	250	4.0	4.4	-	1.2	0.4	-	-	90.0	8.4	1.6	10.0
60歳以上(計)	2,095	4.4	11.4	6.5	1.7	10.0	0.3	0.4	65.3	15.8	18.9	34.7

表 2-1-2 現在の職業(Q3)

(%)

55～59歳	農林漁業 (家族従業者を含む)	自営業 〔商工 サービス 業・自由 業(家族 従業者を 含む)な ど〕	常勤の被 雇者	会社の嘱 託や顧問 等(常勤 の被雇者 を除く)	契約・派 遣・臨 時・パー ト	内職	その他	仕事はし ていない	自営業 者、家族 従業者 (計)	被用者 (計)	仕事あり (計)	
【総数】	371	3.8	16.2	38.5	0.8	15.4	0.8	0.3	24.3	19.9	55.8	75.7
〔都市規模〕												
大都市	66	-	19.7	37.9	-	16.7	-	-	25.8	19.7	54.5	74.2
中都市	147	2.0	16.3	36.7	0.7	17.7	1.4	0.7	24.5	18.4	57.1	75.5
小都市	116	7.8	16.4	40.5	1.7	12.1	-	-	21.6	24.1	54.3	78.4
町村	42	4.8	9.5	40.5	-	14.3	2.4	-	28.6	14.3	57.1	71.4
〔性別〕												
男性	172	3.5	21.5	62.8	1.2	3.5	-	-	7.6	25.0	67.4	92.4
女性	199	4.0	11.6	17.6	0.5	25.6	1.5	0.5	38.7	15.6	45.7	61.3

表 2-1-3 現在の職業(Q3)

(%)

60歳以上	農林漁業 (家族従業者を含む)	自営業 〔商工 サービス 業・自由 業(家族 従業者を 含む)な ど〕	常勤の被 雇者	会社の嘱 託や顧問 等(常勤 の被雇者 を除く)	契約・派 遣・臨 時・パー ト	内職	その他	仕事はし ていない	自営業 者、家族 従業者 (計)	被用者 (計)	仕事あり (計)	
【総数】	2,095	4.4	11.4	6.5	1.7	10.0	0.3	0.4	65.3	15.8	18.9	34.7
〔都市規模〕												
大都市	459	2.4	12.2	6.5	1.5	9.2	-	0.4	67.8	14.6	17.6	32.2
中都市	873	2.1	10.9	7.2	2.5	10.5	0.2	0.5	66.1	12.9	21.0	33.9
小都市	516	8.9	12.6	5.8	0.8	9.9	0.8	-	61.2	21.5	17.2	38.8
町村	247	6.9	8.9	5.3	1.2	9.7	0.4	0.8	66.8	15.8	17.4	33.2
〔性別〕												
男性	990	5.5	15.6	9.4	3.0	10.7	0.1	0.5	55.3	21.0	23.7	44.7
女性	1,105	3.4	7.6	3.9	0.5	9.3	0.5	0.3	74.4	11.0	14.6	25.6

(2) 定年年齢(Q3SQ)

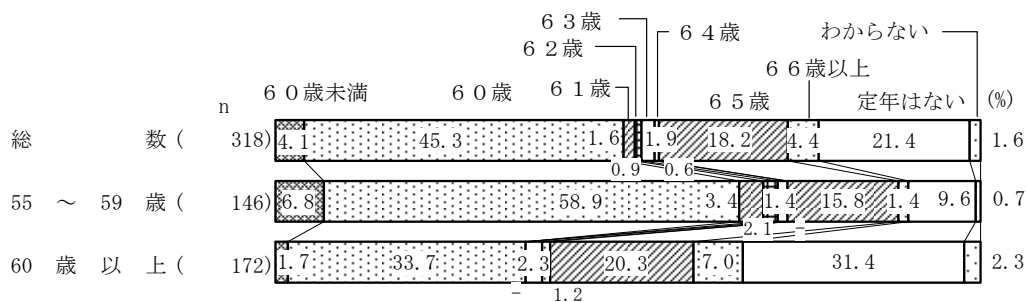
現在、常勤の被雇用者、会社の嘱託や顧問等として働いている人に「勤めている会社の定年年齢は何歳か」尋ねたところ、総数では「60歳未満」の割合が4.1%、「60歳」が45.3%、「61歳」が1.6%、「62歳」が0.9%、「63歳」が1.9%、「64歳」が0.6%、「65歳」が18.2%、「66歳以上」が4.4%、「定年はない」が21.4%などとなっている。

55～59歳では「60歳未満」の割合が6.8%、「60歳」が58.9%、「61歳」が3.4%、「62歳」が2.1%、「63歳」が1.4%、「65歳」が15.8%、「66歳以上」が1.4%、「定年はない」が9.6%などとなっている。

60歳以上では「60歳未満」の割合が1.7%、「60歳」が33.7%、「61歳」が2.3%、「62歳」が2.1%、「63歳」が20.3%、「64歳」が7.0%、「65歳」が31.4%などとなっている。

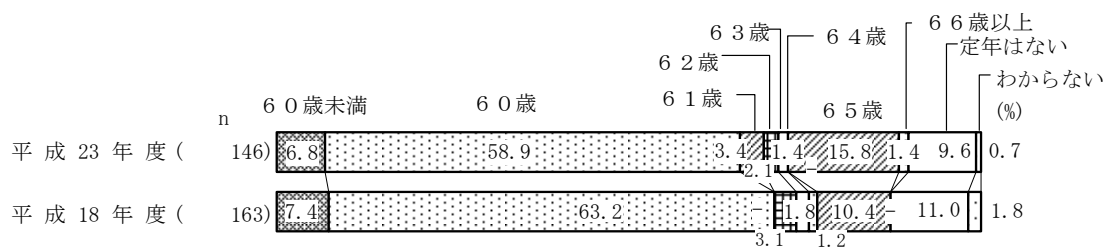
60歳以上では、定年年齢が「60歳」と答えた人の割合は33.7%と55～59歳の58.9%と比べ、25.2ポイントも低くなっている一方、「定年はない」が31.4%と高くなっている。

図2-2-1 定年年齢(Q3SQ)



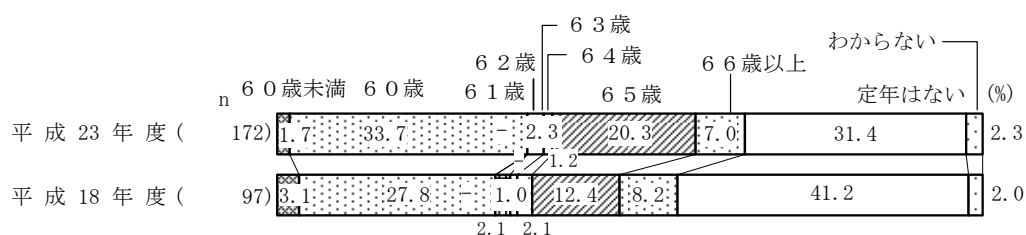
55～59歳を前回調査と比較すると、「60歳」の割合が減少し、「65歳」の割合が増加している。

図2-2-2 定年年齢(Q3SQ) (前回比較、55～59歳)



60歳以上を前回調査と比較すると、「65歳」、「60歳」の割合が増加し、「定年はない」の割合が大きく減少している。

図2-2-3 定年年齢(Q3SQ) (前回比較、60歳以上)



〈総 数〉（表 2-2-1）

都市規模別にみると、都市規模が大きくなるほど「65 歳」の割合が高くなる傾向がみられる。

〈55～59 歳〉 〈60 歳以上〉（表 2-2-2）（表 2-2-3）

該当数が少ないため、表の数値は参考値にとどめ、分析は控える。

表 2-2-1 定年年齢(Q3SQ)

(%)

総 数	該当数	60歳未満	60歳	61歳	62歳	63歳	64歳	65歳	66歳以上	定年はない	わからない
【総 数】	318	4.1	45.3	1.6	0.9	1.9	0.6	18.2	4.4	21.4	1.6
〔都市規模〕											
大都市	62	-	38.7	1.6	1.6	1.6	-	24.2	6.5	24.2	1.6
中都市	140	2.1	47.9	-	0.7	2.1	0.7	17.9	5.0	21.4	2.1
小都市	83	9.6	47.0	2.4	-	-	1.2	15.7	1.2	21.7	1.2
町村	33	6.1	42.4	6.1	3.0	6.1	-	15.2	6.1	15.2	-

表 2-2-2 定年年齢(Q3SQ)

(%)

55～59 歳	該当数	60歳未満	60歳	61歳	62歳	63歳	64歳	65歳	66歳以上	定年はない	わからない
【総 数】	146	6.8	58.9	3.4	2.1	1.4	-	15.8	1.4	9.6	0.7
〔都市規模〕											
大都市	25	-	52.0	4.0	4.0	-	-	24.0	8.0	8.0	-
中都市	55	5.5	69.1	-	1.8	1.8	-	14.5	-	7.3	-
小都市	49	10.2	57.1	4.1	-	-	-	12.2	-	14.3	2.0
町村	17	11.8	41.2	11.8	5.9	5.9	-	17.6	-	5.9	-

表 2-2-3 定年年齢(Q3SQ)

(%)

60 歳 以上	該当数	60歳未満	60歳	61歳	62歳	63歳	64歳	65歳	66歳以上	定年はない	わからない
【総 数】	172	1.7	33.7	-	-	2.3	1.2	20.3	7.0	31.4	2.3
〔都市規模〕											
大都市	37	-	29.7	-	-	2.7	-	24.3	5.4	35.1	2.7
中都市	85	-	34.1	-	-	2.4	1.2	20.0	8.2	30.6	3.5
小都市	34	8.8	32.4	-	-	-	2.9	20.6	2.9	32.4	-
町村	16	-	43.8	-	-	6.3	-	12.5	12.5	25.0	-

(3) 収入のある仕事をしている理由(Q4)

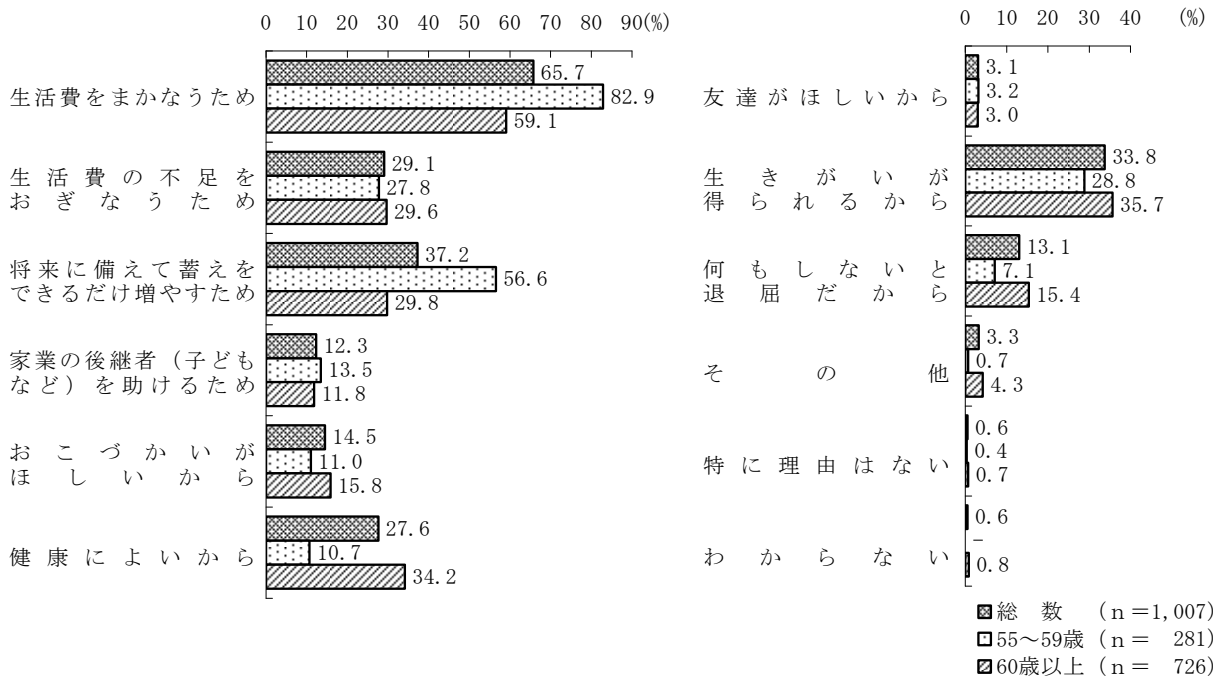
現在、収入のある仕事をしている人に、「仕事をしている理由は何か」尋ねてみると、総数、55～59歳、60歳以上でそろって「生活費をまかなうため」の割合が最も高く、総数で65.7%、55～59歳で82.9%、60歳以上で59.1%となっている。総数では次いで「将来に備えて蓄えをできるだけ増やすため」が37.2%、「生きがいを得られるから」が33.8%、「生活費の不足をおぎなうため」が29.1%、「健康によいから」が27.6%などの順となっている。

55～59歳では次いで「将来に備えて蓄えをできるだけ増やすため」が56.6%、「生きがいを得られるから」が28.8%、「生活費の不足をおぎなうため」が27.8%などの順となっている。

60歳以上では次いで「生きがいを得られるから」が35.7%、「健康によいから」が34.2%、「将来に備えて蓄えをできるだけ増やすため」が29.8%、「生活費の不足をおぎなうため」が29.6%などの順となっている。

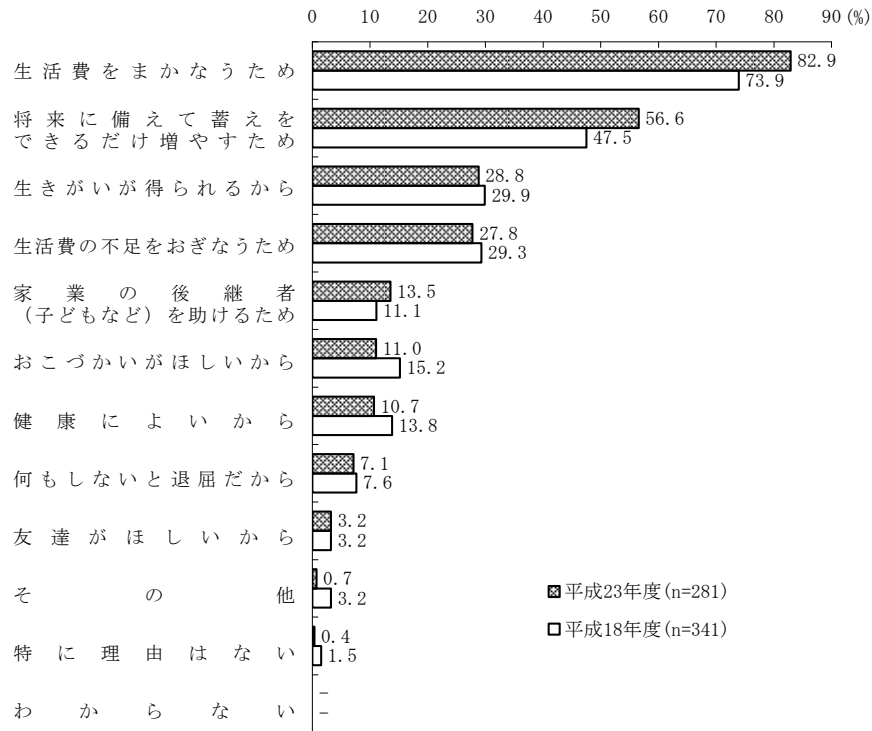
55～59歳と60歳以上を比較すると、「生活費をまかなうため」、「将来に備えて蓄えをできるだけ増やすため」は55～59歳で、「健康によいから」は60歳以上で、それぞれ高くなっている。

図2-3-1 収入のある仕事をしている理由(Q4)(3つまでの複数回答)



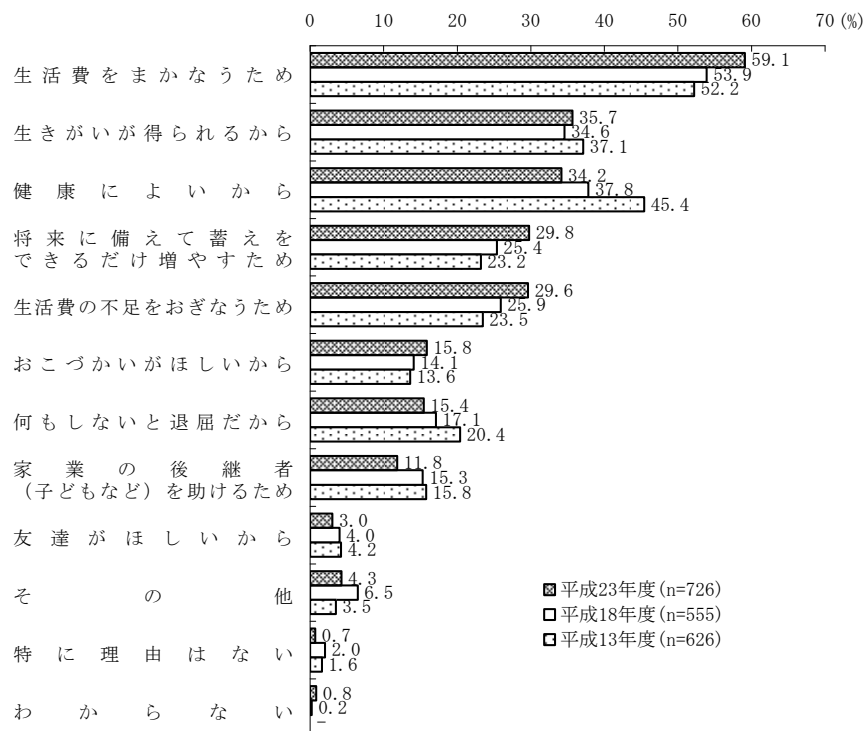
55～59歳を前回調査と比較すると、「生活費をまかなうため」、「将来に備えて蓄えをできるだけ増やすため」の割合が大きく増加している。

図2-3-2 収入のある仕事をしている理由（Q4）（3つまでの複数回答）（前回比較、55～59歳）



60歳以上を時系列で見ると、「生活費をまかなうため」、「将来に備えて蓄えをできるだけ増やすため」、「生活費の不足をおぎなうため」などの経済的な理由は増加傾向が顕著である。一方、「健康によいから」、「何もしないと退屈だから」は減少傾向を示しており、特に「健康によいから」は平成13年度と比べると割合が大きく減少している。

図2-3-3 収入のある仕事をしている理由（Q4）（3つまでの複数回答）（時系列比較、60歳以上）



〈総 数〉（表 2-3-1）

都市規模別にみると「将来に備えて蓄えをできるだけ増やすため」は都市規模が大きくなるほど割合が高くなる傾向がみられ、「家業の後継者（子どもなど）を助けるため」は、町村を除き、都市規模が小さくなるほど割合が高くなる傾向がある。

性別にみると、「生活費をまかなうため」、「将来に備えて蓄えをできるだけ増やすため」は男性で、「生きがいを得られるから」、「健康によいから」は女性で、それぞれ高くなっている。

年齢別にみると、「生活費をまかなうため」、「将来に備えて蓄えをできるだけ増やすため」は年齢が低くなるほど割合が高くなっている。一方、「生きがいを得られるから」、「健康によいから」は年齢が高くなるほど割合も高くなる傾向がみられる。「生活費をまかなうため」「将来に備えて蓄えをできるだけ増やすため」は 65 歳未満で割合が高く、特に「生活費をまかなうため」は 65 歳を過ぎても 79 歳までは約半数が回答していることが注目される。

最長職業別にみると、「将来に備えて蓄えをできるだけ増やすため」は常勤の被雇用者（40.4%）で、「生活費の不足をおぎなうため」は契約・派遣・臨時・パート（46.6%）で、それぞれ高くなっている。

現在の経済的な暮らし向き別では、『心配である（計）』と答えた人では「生活費をまかなうため」（82.7%）で高くなっている。

性・現在の職業別では、「生活費をまかなうため」は自営業の男性（82.2%）と『被用者（計）』の男性（76.1%）で高く、「生きがいを得られるから」は自営業の女性（45.8%）で高くなっている。

現在の貯蓄額別では、「生活費をまかなうため」は『300 万円未満（計）貯蓄なし含む』（79.5%）で高く、「生きがいを得られるから」は『1,000 万円以上（計）』（47.5%）で高くなっている。

〈55～59 歳〉（表 2-3-2）

都市規模別にみると、「生活費の不足をおぎなうため」は中都市（35.1%）で高くなっている。

性別にみると、「生活費をまかなうため」（男性 96.9%、女性 64.8%）、「将来に備えて蓄えをできるだけ増やすため」（男性 61.6%、女性 50.0%）では女性より男性で高くなっている。一方、「生きがいを得られるから」（男性 20.8%、女性 39.3%）、「生活費の不足をおぎなうため」（男性 20.1%、女性 37.7%）では、男性より女性で高くなっている。

最長職業別にみると、常勤の被雇用者は「生活費をまかなうため」（89.2%）で高くなっている。

現在の経済的な暮らし向き別では、「生活費をまかなうため」は『心配である（計）』と答えた人（91.8%）で、「将来に備えて蓄えをできるだけ増やすため」は『心配はない（計）』と答えた人（67.0%）で、それぞれ高くなっている。

性・現在の職業別では、該当数が少ないため、表の値は参考値にとどめ、分析は控える。

現在の貯蓄額別では、「生活費をまかなうため」は『300 万円未満（計）貯蓄なし含む』（92.2%）で高く、「生きがいを得られるから」は『1,000 万円以上（計）』（50.8%）で高くなっている。

〈60歳以上〉（表2-3-3）

都市規模別にみると「将来に備えて蓄えをできるだけ増やすため」は都市規模が大きくなるほど割合が高くなる傾向がみられ、「家業の後継者を助けるため」は、町村を除き、都市規模が小さくなるほど割合が高くなる傾向がある。

性別にみると、「生活費をまかなうため」（男性 70.4%、女性 41.3%）、「将来に備えて蓄えをできるだけ増やすため」（男性 34.5%、女性 22.3%）は男性で、「生きがいが得られるから」（男性 32.5%、女性 40.6%）は女性で、それぞれ高くなっている。

最長職業別にみると、「生活費をまかなうため」は自営業(65.4%)で、約3人に2人があげており、高くなっている。また常勤の被雇用者(57.0%)でも6割近くが回答している。

現在の経済的な暮らし向き別では、「生活費をまかなうため」は『心配である(計)』と答えた人(78.1%)で、「生きがいが得られるから」、「健康によいから」は『心配はない(計)』と答えた人で順に40.8%、37.7%と、それぞれ高くなっている。

性・現在の職業別では、自営業の男性では「生活費をまかなうため」(79.9%)が最も高く、次いで「将来に備えて蓄えをできるだけ増やすため」(40.9%)が高くなっている。また、『被用者(計)』の男性でも「生活費をまかなうため」(64.7%)を6割以上が回答している一方、「おこづかいがほしいから」(24.3%)も2割以上が回答している。

現在の貯蓄額別では、「生活費をまかなうため」は『300万円未満(計)貯蓄なし含む』(72.9%)で高く、「生きがいが得られるから」は『1,000万円以上(計)』(46.5%)で高くなっている。

(4) 収入のある仕事をしている最大の理由(Q4)

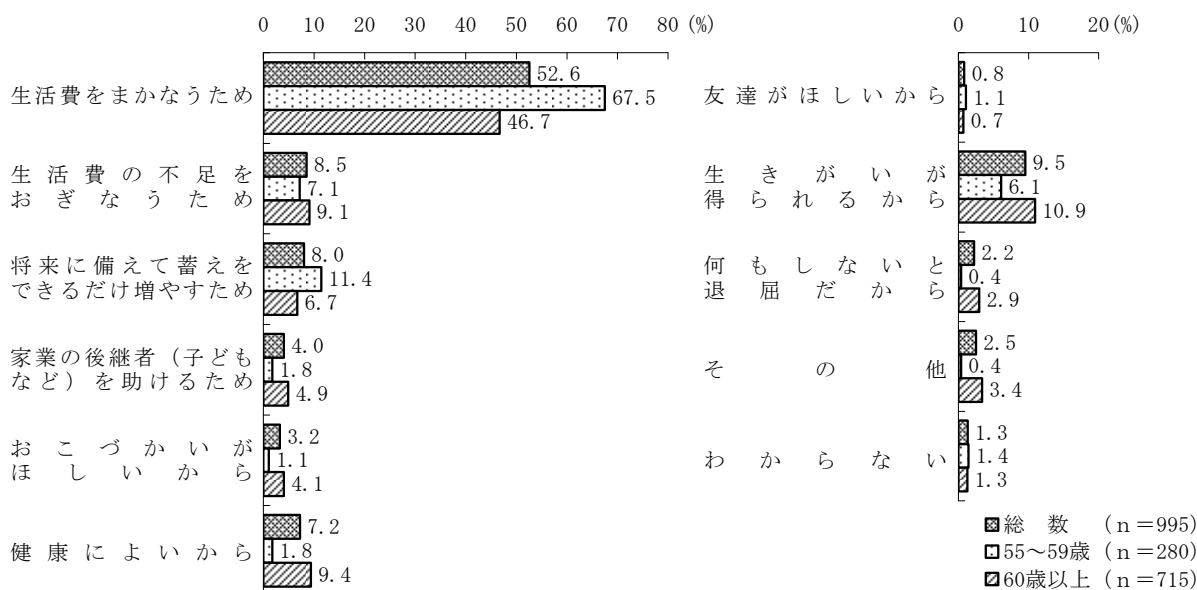
現在、収入のある仕事をしている人に、「仕事をしている最も大きな理由は何か」尋ねてみると、総数、55～59歳、60歳以上でそろって「生活費をまかなうため」の割合が最も高く、総数で52.6%、55～59歳で67.5%、60歳以上で46.7%となっており、第2位と大きな差がついている。総数では次いで、「生きがいを得られるから」が9.5%、「生活費の不足をおぎなうため」が8.5%、「将来に備えて蓄えをできるだけ増やすため」が8.0%などの順となっている。

55～59歳では次いで、「将来に備えて蓄えをできるだけ増やすため」が11.4%、「生活費の不足をおぎなうため」が7.1%、「生きがいを得られるから」が6.1%などの順となっている。

60歳以上では次いで、「生きがいを得られるから」が10.9%、「健康によいから」が9.4%、「生活費の不足をおぎなうため」が9.1%などの順となっている。

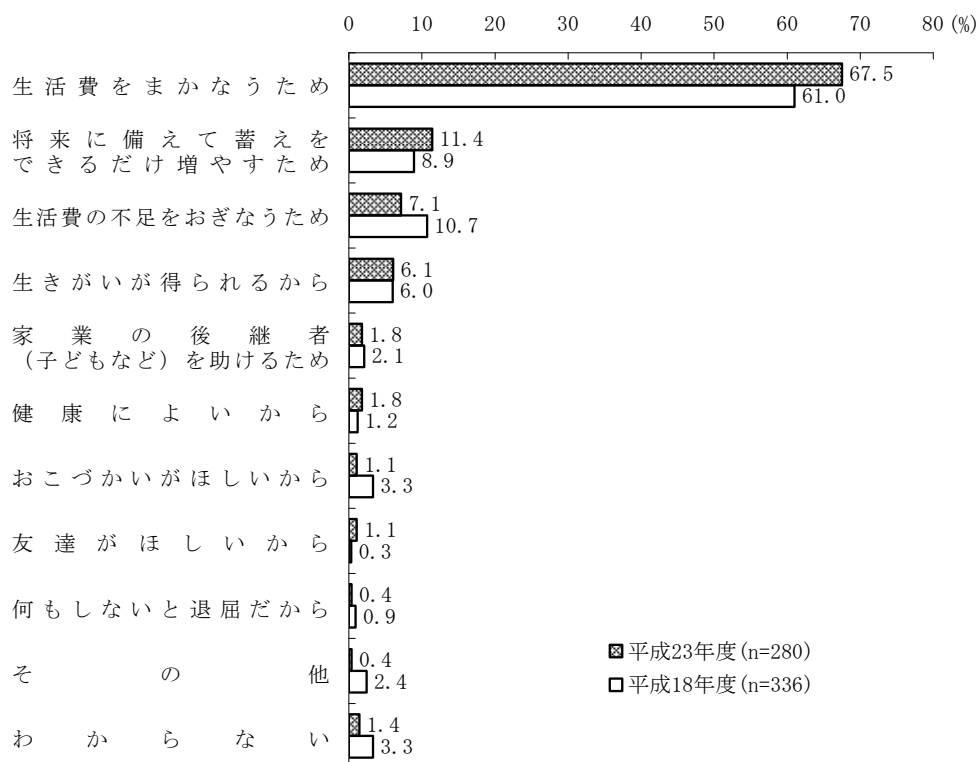
55～59歳、60歳以上ともに、「生活費をまかなうため」の割合が最も高くなっているが、55～59歳が20.8ポイントの差で高くなっている。

図2-4-1 収入のある仕事をしている最大の理由(Q4)



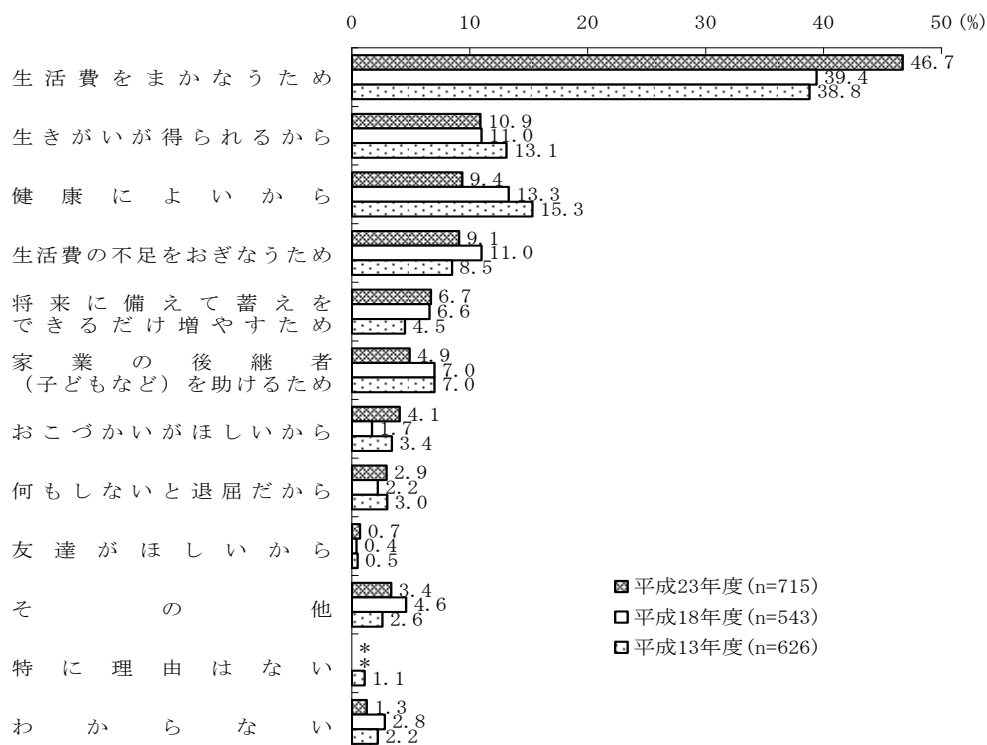
55～59 歳を前回調査と比較すると、「生活費をまかなうため」の割合が増加している。「将来に備えて蓄えをできるだけ増やすため」の割合もやや増加している。一方、「生活費の不足をおぎなうため」の割合はやや減少している。

図 2-4-2 収入のある仕事をしている最大の理由 (Q4) (前回比較、55～59 歳)



60 歳以上を時系列でみると、「生活費をまかなうため」は前回調査から大きく割合が増加している。一方、「健康によいから」は大きく割合が減少傾向を示している。

図 2-4-3 収入のある仕事をしている最大の理由 (Q4) (時系列比較、60 歳以上)



(注) *は調査時に選択肢がなく、データが存在しないもの

〈総数〉（表2-4-1）

都市規模別にみると、あまり大きな差はみられない。

性別にみると、「生活費をまかなうため」（男性 62.8%、女性 37.1%）は女性より男性で、「生きがいが得られるから」（男性 5.3%、女性 15.9%）は男性より女性で、それぞれ高くなっている。

年齢別にみると、「生活費をまかなうため」は年齢が高くなるほど割合が低くなり、「健康によいから」は、70～74歳までは、年齢が高くなるほど割合も高くなる傾向がみられる。特に、「生活費をまかなうため」は60～64歳（58.6%）では約6割を占め、65歳を過ぎても79歳までは3割台後半と高くなっている。

最長職業別にみると、「生活費をまかなうため」は自営業（58.4%）で高く、契約・派遣・臨時・パート（36.4%）で低くなっている。また、「生活費の不足をおぎなうため」、「将来に備えて蓄えをできるだけ増やすため」は契約・派遣・臨時・パートで高くなっている。

性・現在の職業別にみると、「生活費をまかなうため」は自営業の男性（67.4%）と『被用者（計）』の男性（61.1%）で高く、6割以上を占めている。また、「生きがい得られるから」は自営業の女性（22.5%）で高くなっている。

〈55～59歳〉（表2-4-2）

都市規模別にみると、「将来に備えて蓄えをできるだけ増やすため」は中都市（16.2%）で高くなっている。

性別にみると、「生活費をまかなうため」は女性（46.3%）より男性（83.6%）で高くなっている。一方、「将来に備えて蓄えをできるだけ増やすため」（男性 8.2%、女性 15.7%）、「生活費の不足をおぎなうため」（男性 2.5%、女性 13.2%）、「生きがい得られるから」（男性 2.5%、女性 10.7%）は男性より女性で高くなっている。

最長職業別にみると、「生活費をまかなうため」は常勤の被雇用者（77.0%）で高くなっている。

性・現在の職業別では、該当数が少ないため、表の数値は参考値にとどめ、分析は控える。

〈60歳以上〉（表2-4-3）

都市規模別にみると、「生きがい得られるから」の割合は中都市（14.6%）で高くなっている。

性別にみると、「生活費をまかなうため」は女性（33.1%）より男性（55.2%）で高く、「生きがい得られるから」（男性 6.4%、女性 18.2%）、「健康によいから」（男性 6.8%、女性 13.5%）では男性より女性で高くなっている。

最長職業別にみると、「生活費をまかなうため」は自営業（55.7%）で過半数を占め、高くなっているが、常勤の被用者（42.4%）でも4割を占めている。また、「生活費の不足をおぎなうため」は常勤の被雇用者（12.4%）で他の職業より高くなっている。

性・現在の職業別にみると、「生活費をまかなうため」は自営業の男性（65.4%）で6割以上を占め、高くなっているが、『被用者（計）』の男性（48.7%）でも半数近くを占めている。また、「生活費の不足をおぎなうため」は『被用者（計）』の男性（14.1%）で他の職業より高くなっている。

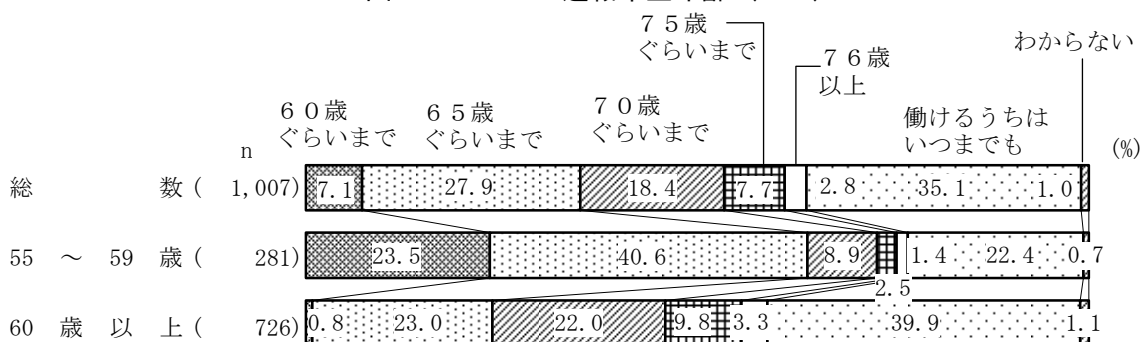
(5) 退職希望年齢(Q5)

「何歳ごろまで仕事をしたいか」尋ねてみると、総数では「働けるうちはいつまでも」が35.1%と最も高く、以下、「65歳ぐらいまで」が27.9%、「70歳ぐらいまで」が18.4%、「75歳ぐらいまで」が7.7%、「60歳ぐらいまで」が7.1%、「76歳以上」が2.8%の順となっている。

55～59歳では「65歳ぐらいまで」が40.6%と最も高く、以下、「60歳ぐらいまで」が23.5%、「働けるうちはいつまでも」が22.4%、「70歳ぐらいまで」が8.9%、「75歳ぐらいまで」が1.4%、「76歳以上」が0.7%の順となっている。

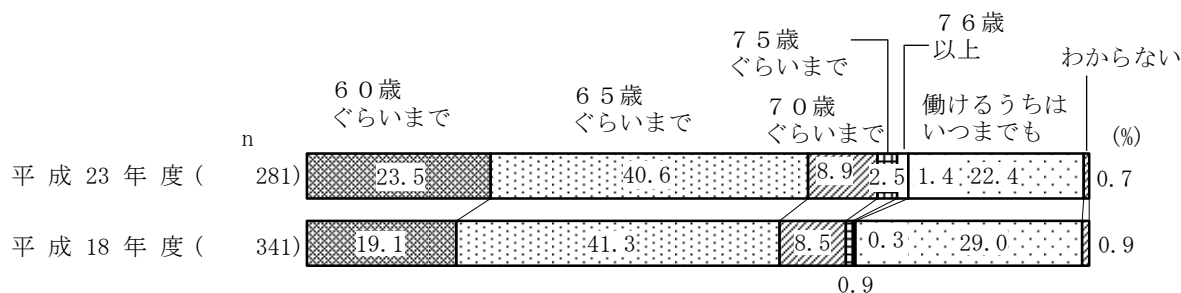
60歳以上では「働けるうちはいつまでも」が39.9%と最も高く、以下、「65歳ぐらいまで」が23.0%、「70歳ぐらいまで」が22.0%、「75歳ぐらいまで」が9.8%、「76歳以上」が3.3%、「60歳ぐらいまで」が0.8%の順となっている。「働けるうちはいつまでも」は55～59歳と比べ、60歳以上では17.5ポイントも高くなっている。

図2-5-1 退職希望年齢(Q5)



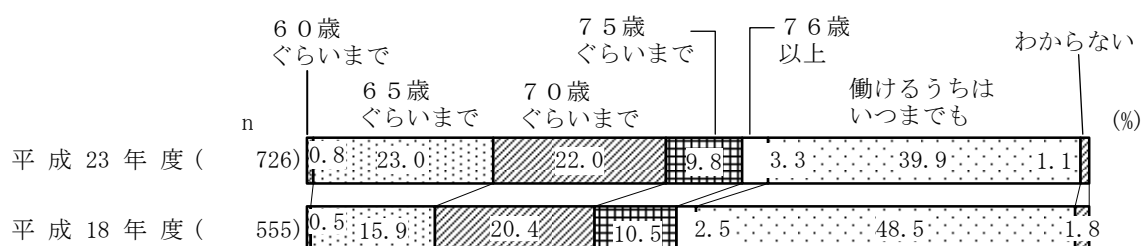
55～59歳を前回調査と比較すると、「60歳ぐらいまで」が4.4ポイント増加し、「働けるうちはいつまでも」が6.6ポイント減少している。

図2-5-2 退職希望年齢(Q5)(前回比較、55～59歳)



60歳以上を前回調査と比較すると、「65歳ぐらいまで」が7.1ポイント増加し、「働けるうちはいつまでも」が8.6ポイント減少している。

図2-5-3 退職希望年齢(Q5)(前回比較、60歳以上)



〈総数〉（表2-5-1）

都市規模別にみると、町村以外の全ての都市規模で、「働けるうちはいつまでも」が最も高く、次いで「65歳ぐらいまで」となっている。町村では「65歳ぐらいまで」が最も高く、次いで「働けるうちはいつまでも」となっている。

性別にみると、「60歳ぐらいまで」、「働けるうちはいつまでも」は男性より女性で高くなっているが、それ以外では女性より男性で高くなっている。

年齢別にみると、60～64歳では「65歳ぐらいまで」（47.4%）、65～69歳では「70歳まで」（42.2%）の割合が最も高く、自分の年齢に近い節目年齢を回答している。一方、「働けるうちはいつまでも」は年齢が高くなるほど割合も高くなっており、70歳以上では半数以上が回答している。

健康状態別では、「働けるうちはいつまでも」は健康状態が『良い（計）』と答えた人（33.4%）より『良くない（計）』と答えた人（49.4%）で高くなっている。

現在の貯蓄額別でみると、「65歳ぐらいまで」は『1,000万円以上（計）』（35.3%）で高く、「働けるうちはいつまでも」は『1,000万円以上（計）』（27.3%）で低くなっている。

〈55～59歳〉（表2-5-2）

都市規模別にみると、「働けるうちはいつまでも」は小都市（29.7%）で高くなっている。

性別にみると、「60歳ぐらいまで」（男性19.5%、女性28.7%）、「働けるうちはいつまでも」（男性18.9%、女性27.0%）では男性より女性で高くなっている。

健康状態別にみると、大きな差はみられない。

現在の貯蓄額別では、該当数が少ないため、数値は参考値にとどめ、分析は控える。

〈60歳以上〉（表2-5-3）

全ての都市規模で、「働けるうちはいつまでも」が最も高くなっている。

性別にみると、「70歳ぐらいまで」は女性（17.0%）より男性（25.3%）で、「働けるうちはいつまでも」は男性（35.7%）より女性（46.6%）で、それぞれ高くなっている。

健康状態別では、「働けるうちはいつまでも」は健康状態が『良い（計）』と答えた人（37.4%）より『良くない（計）』と答えた人（57.4%）で高くなっているが、「70歳ぐらいまで」は健康状態が『良くない（計）』と答えた人（7.4%）より『良い（計）』と答えた人（23.8%）で高くなっている。

現在の貯蓄額別でみると、「働けるうちはいつまでも」は『1,000万円以上（計）』（31.5%）で低くなっている。

表2-5-1 退職希望年齢 (Q5)

(%)

総数	該当数	60歳ぐ らいまで	65歳ぐ らいまで	70歳ぐ らいまで	75歳ぐ らいまで	76歳 以上	働けるう ちはいつ までも	わからな い
【総数】	1,007	7.1	27.9	18.4	7.7	2.8	35.1	1.0
〔都市規模〕								
大都市	197	6.6	30.5	21.3	5.1	3.0	32.5	1.0
中都市	407	7.9	29.2	17.4	7.9	2.0	35.6	-
小都市	291	6.9	24.1	17.9	7.9	2.4	38.8	2.1
町村	112	6.3	28.6	17.9	11.6	6.3	27.7	1.8
〔性別〕								
男性	602	5.8	28.1	21.4	9.0	3.5	31.2	1.0
女性	405	9.1	27.7	13.8	5.9	1.7	40.7	1.0
〔年齢別〕								
55～59歳	281	23.5	40.6	8.9	2.5	1.4	22.4	0.7
60～64歳	340	1.5	47.4	21.8	3.8	0.3	25.3	-
65～69歳	199	-	3.0	42.2	11.6	1.0	40.7	1.5
70～74歳	106	-	-	1.9	31.1	11.3	53.8	1.9
75～79歳	56	-	-	-	3.6	12.5	82.1	1.8
80歳以上	25	4.0	-	-	-	8.0	80.0	8.0
60歳以上 (計)	726	0.8	23.0	22.0	9.8	3.3	39.9	1.1
〔健康状態〕								
良い	459	7.6	28.5	19.2	7.2	2.6	34.0	0.9
まあ良い	232	6.5	29.7	19.8	8.2	2.2	32.3	1.3
普通	229	6.1	27.5	19.7	7.9	3.5	34.5	0.9
あまり良くない	80	8.8	20.0	7.5	10.0	3.8	48.8	1.3
良くない	7	14.3	28.6	-	-	-	57.1	-
良い (計)	691	7.2	28.9	19.4	7.5	2.5	33.4	1.0
良くない (計)	87	9.2	20.7	6.9	9.2	3.4	49.4	1.1
Q23〔現在の貯蓄額〕								
100万円未満	100	7.0	23.0	18.0	8.0	3.0	41.0	-
100万円～200万円未満	49	12.2	28.6	16.3	10.2	2.0	28.6	2.0
200万円～300万円未満	74	6.8	32.4	14.9	9.5	6.8	29.7	-
300万円～500万円未満	81	8.6	27.2	14.8	6.2	2.5	39.5	1.2
500万円～700万円未満	66	3.0	25.8	21.2	6.1	3.0	39.4	1.5
700万円～1000万円未満	69	10.1	26.1	23.2	4.3	-	34.8	1.4
1000万円～2000万円未満	108	3.7	39.8	22.2	6.5	2.8	25.0	-
2000万円～3000万円未満	78	7.7	29.5	15.4	12.8	2.6	30.8	1.3
3000万円～5000万円未満	39	15.4	35.9	12.8	10.3	-	23.1	2.6
5000万円以上	53	7.5	34.0	22.6	-	3.8	30.2	1.9
貯蓄はない	79	3.8	17.7	15.2	11.4	5.1	45.6	1.3
わからない	211	7.1	24.2	19.4	7.6	1.9	38.9	0.9
300万円未満 (計) 貯蓄なし含む	302	7.0	24.8	16.2	9.6	4.3	37.4	0.7
300万円～1000万円未満 (計)	216	7.4	26.4	19.4	5.6	1.9	38.0	1.4
1000万円以上 (計)	278	7.2	35.3	19.1	7.6	2.5	27.3	1.1

表2-5-2 退職希望年齢 (Q5)

(%)

55 ~ 59 歳	該当数	60歳ぐ らいまで	65歳ぐ らいまで	70歳ぐ らいまで	75歳ぐ らいまで	76歳 以上	働けるう ちはいつ までも	わからな い
総数	281	23.5	40.6	8.9	2.5	1.4	22.4	0.7
〔都市規模〕								
大都市	49	18.4	40.8	16.3	2.0	2.0	20.4	-
中都市	111	28.8	45.0	6.3	1.8	-	18.0	-
小都市	91	19.8	33.0	8.8	4.4	2.2	29.7	2.2
町村	30	23.3	46.7	6.7	-	3.3	20.0	-
〔性別〕								
男性	159	19.5	44.7	10.7	2.5	2.5	18.9	1.3
女性	122	28.7	35.2	6.6	2.5	-	27.0	-
〔健康状態〕								
良い	143	23.1	41.3	8.4	2.1	0.7	23.8	0.7
まあ良い	53	26.4	43.4	7.5	-	-	22.6	-
普通	66	19.7	37.9	12.1	4.5	4.5	19.7	1.5
あまり良くない	17	29.4	35.3	5.9	5.9	-	23.5	-
良くない	2	50.0	50.0	-	-	-	-	-
良い(計)	196	24.0	41.8	8.2	1.5	0.5	23.5	0.5
良くない(計)	19	31.6	36.8	5.3	5.3	-	21.1	-
Q23〔現在の貯蓄額〕								
100万円未満	36	19.4	36.1	11.1	-	-	33.3	-
100万円～200万円未満	16	31.3	43.8	12.5	-	-	12.5	-
200万円～300万円未満	25	20.0	52.0	8.0	4.0	4.0	12.0	-
300万円～500万円未満	25	28.0	40.0	12.0	4.0	-	16.0	-
500万円～700万円未満	17	11.8	29.4	11.8	5.9	5.9	35.3	-
700万円～1000万円未満	25	28.0	28.0	12.0	-	-	28.0	4.0
1000万円～2000万円未満	30	13.3	50.0	13.3	3.3	-	20.0	-
2000万円～3000万円未満	16	37.5	43.8	6.3	6.3	-	6.3	-
3000万円～5000万円未満	11	45.5	45.5	-	-	-	9.1	-
5000万円以上	8	37.5	50.0	-	-	-	12.5	-
貯蓄はない	26	11.5	34.6	3.8	3.8	3.8	42.3	-
わからない	46	26.1	41.3	6.5	2.2	2.2	19.6	2.2
300万円未満(計) 貯蓄なし含む	103	19.4	40.8	8.7	1.9	1.9	27.2	-
300万円～1000万円未満(計)	67	23.9	32.8	11.9	3.0	1.5	25.4	1.5
1000万円以上(計)	65	27.7	47.7	7.7	3.1	-	13.8	-

表2-5-3 退職希望年齢 (Q5)

(%)

60 歳 以 上	該当数	60歳ぐ らいまで	65歳ぐ らいまで	70歳ぐ らいまで	75歳ぐ らいまで	76歳 以上	働けるう ちはいつ までも	わからな い
総数	726	0.8	23.0	22.0	9.8	3.3	39.9	1.1
〔都市規模〕								
大都市	148	2.7	27.0	23.0	6.1	3.4	36.5	1.4
中都市	296	-	23.3	21.6	10.1	2.7	42.2	-
小都市	200	1.0	20.0	22.0	9.5	2.5	43.0	2.0
町村	82	-	22.0	22.0	15.9	7.3	30.5	2.4
〔性別〕								
男性	443	0.9	22.1	25.3	11.3	3.8	35.7	0.9
女性	283	0.7	24.4	17.0	7.4	2.5	46.6	1.4
〔健康状態〕								
良い	316	0.6	22.8	24.1	9.5	3.5	38.6	0.9
まあ良い	179	0.6	25.7	23.5	10.6	2.8	35.2	1.7
普通	163	0.6	23.3	22.7	9.2	3.1	40.5	0.6
あまり良くない	63	3.2	15.9	7.9	11.1	4.8	55.6	1.6
良くない	5	-	20.0	-	-	-	80.0	-
良い(計)	495	0.6	23.8	23.8	9.9	3.2	37.4	1.2
良くない(計)	68	2.9	16.2	7.4	10.3	4.4	57.4	1.5
Q23〔現在の貯蓄額〕								
100万円未満	64	-	15.6	21.9	12.5	4.7	45.3	-
100万円～200万円未満	33	3.0	21.2	18.2	15.2	3.0	36.4	3.0
200万円～300万円未満	49	-	22.4	18.4	12.2	8.2	38.8	-
300万円～500万円未満	56	-	21.4	16.1	7.1	3.6	50.0	1.8
500万円～700万円未満	49	-	24.5	24.5	6.1	2.0	40.8	2.0
700万円～1000万円未満	44	-	25.0	29.5	6.8	-	38.6	-
1000万円～2000万円未満	78	-	35.9	25.6	7.7	3.8	26.9	-
2000万円～3000万円未満	62	-	25.8	17.7	14.5	3.2	37.1	1.6
3000万円～5000万円未満	28	3.6	32.1	17.9	14.3	-	28.6	3.6
5000万円以上	45	2.2	31.1	26.7	-	4.4	33.3	2.2
貯蓄はない	53	-	9.4	20.8	15.1	5.7	47.2	1.9
わからない	165	1.8	19.4	23.0	9.1	1.8	44.2	0.6
300万円未満(計) 貯蓄なし含む	199	0.5	16.6	20.1	13.6	5.5	42.7	1.0
300万円～1000万円未満(計)	149	-	23.5	22.8	6.7	2.0	43.6	1.3
1000万円以上(計)	213	0.9	31.5	22.5	8.9	3.3	31.5	1.4

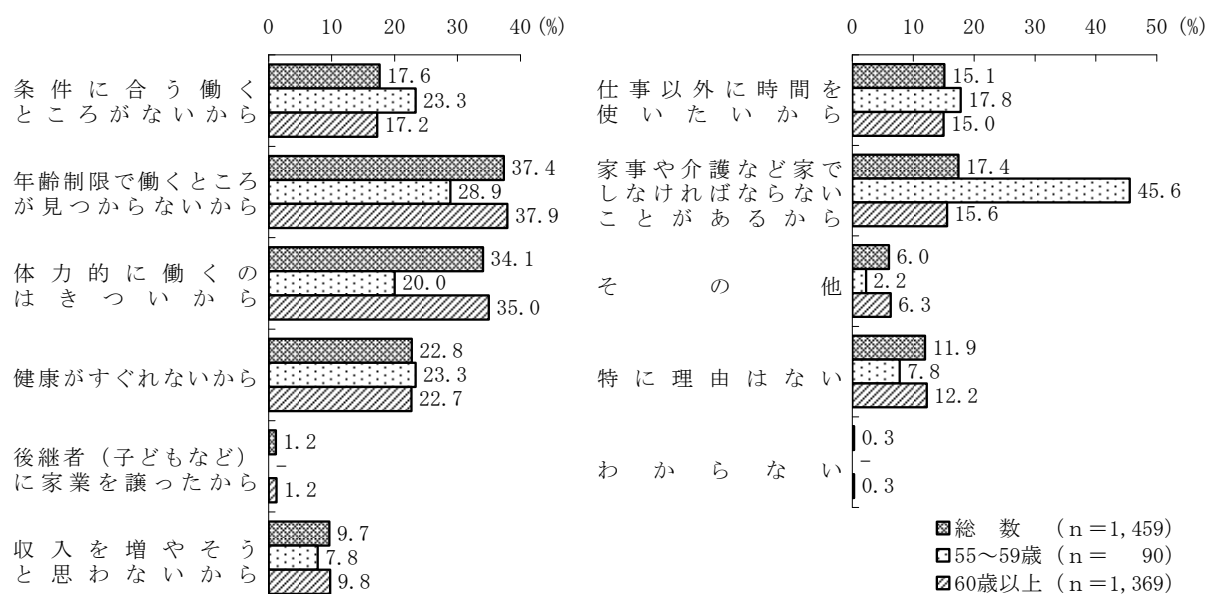
(6) 収入のある仕事をしていない理由(Q6)

現在、収入のある仕事をしていない人に、「仕事をしていない理由は何か」尋ねてみると、総数、60歳以上では「年齢制限で働くところが見つからないから」が総数で37.4%、60歳以上で37.9%と最も高くなっており、以下、「体力的に働くのはきついから」が総数で34.1%、60歳以上で35.0%、「健康がすぐれないから」が総数で22.8%、60歳以上で22.7%、「条件に合う働くところがないから」が総数で17.6%、60歳以上で17.2%などの順となっている。

55～59歳では「家事や介護など家でしなければならないことがあるから」が45.6%と最も高く、以下、「年齢制限で働くところが見つからないから」が28.9%、「条件に合う働くところがないから」と「健康がすぐれないから」がともに23.3%などの順となっている。

55～59歳と60歳以上を比較すると、「年齢制限で働くところが見つからないから」、「体力的に働くのはきついから」は60歳以上で高くなっている。一方、「家事や介護など家でなければならないことがあるから」は55～59歳で大きく上回っている。

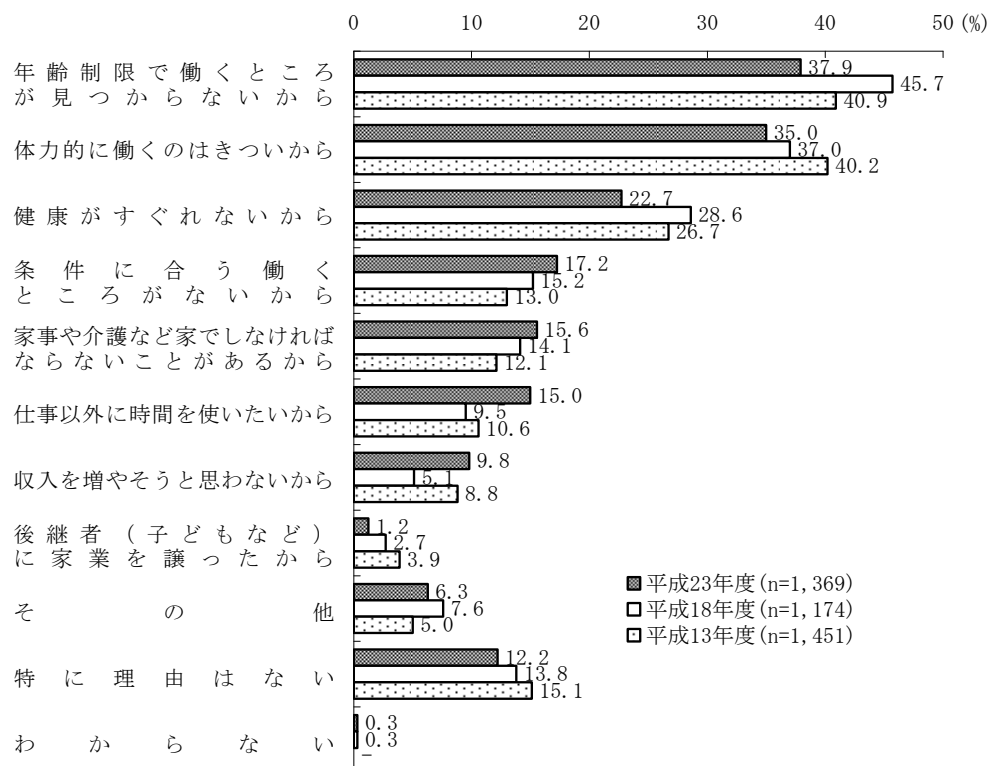
図2-6-1 収入のある仕事をしていない理由(Q6)(3つまでの複数回答)



55～59歳については、該当数が少ないため、前回調査との比較は控える。

60歳以上を時系列でみると、「年齢制限で働くところが見つからないから」、「健康がすぐれないから」は前回調査より割合が大きく減少している。また、「体力的に働くのはきついから」も減少傾向がみられる。一方、「条件に合う働くところがないから」、「家事や介護など家でしなければならないことがあるから」は増加傾向を示している。

図2-6-2 収入のある仕事をしていない理由（Q6）（3つまでの複数回答）（時系列比較、60歳以上）



〈総数〉（表2-6-1）

都市規模別にみると、「家事や介護など家でしなければならないことがあるから」は小都市(21.7%)で高くなっている。

性別にみると、「条件に合う働くところがないから」は女性(14.5%)より男性(22.7%)で8.2ポイント、「家事や介護など家でしなければならないことがあるから」は男性(5.2%)より女性(25.0%)で19.8ポイント、それぞれ高くなっている。

年齢別にみると、「条件に合う働くところがないから」は年齢が高くなるほど割合が低くなっている。

最長職業別では、「年齢制限で働くところが見つからないから」は契約・派遣・臨時・パート(43.8%)、常勤の被雇用者(39.9%)、自営業(37.2%)で高くなっており、「体力的に働くのはきついから」、「健康がすぐれないから」は農林漁業で高く、それぞれ56.7%、40.3%となっている。

現在の経済的な暮らし向き別では、上位4項目である「年齢制限で働くところが見つからないから」「体力的に働くのはきついから」「健康がすぐれないから」「条件に合う働くところがないから」の割合がそろって、『心配はない(計)』とする人より『心配である(計)』とする人で高くなっている。

〈55～59 歳〉（表 2-6-2）

都市規模別では、該当数が少ないため、表の数値は参考値にとどめ、分析は控える。

性別にみると、「家事や介護など家でしなければならないことがあるから」は男性（7.7%）より女性（51.9%）で 44.2 ポイント高くなっている。

最長職業別では、該当数が少ないため、表の数値は参考値にとどめ、分析は控える。

現在の経済的な暮らし向き別では、「年齢制限で働くところが見つからないから」、「条件に合う働くところがないから」、「健康がすぐれないから」「体力的に働くのはきついかから」では『心配はない（計）』とする人より『心配である（計）』とする人で割合が高くなっている。

〈60 歳以上〉（表 2-6-3）

都市規模別にみると、「年齢制限で働くところが見つからないから」は中都市（41.4%）で高く、大都市（33.1%）で低くなっている。

性別にみると、「条件に合う働くところがないから」（男性 22.7%、女性 13.6%）は女性より男性で高く、「家事や介護など家でしなければならないことがあるから」（男性 5.1%、女性 22.5%）は男性より女性で高くなっている。

最長職業別では、「年齢制限で働くところが見つからないから」は契約・派遣・臨時・パート（47.5%）、常勤の被雇用者（40.3%）で高くなっている。

現在の経済的な暮らし向き別では、上位 4 項目である「年齢制限で働くところが見つからないから」「体力的に働くのはきついかから」「健康がすぐれないから」「条件に合う働くところがないから」の割合がそろって、『心配はない（計）』より『心配である（計）』で高くなっている。

表 2-6-1 収入のある仕事をしていない理由（Q6）（3 つまでの複数回答）（%）

総数	該当数	年齢制限で働くところが見つからないから	体力的に働くのはきついかから	健康がすぐれないから	条件に合う働くところがないから	家事や介護など家でしなければならないことがあるから	仕事以外に時間を使いたいから	収入を増やそうと思わないから	後継者（子どもなど）に家業を譲ったから	その他	特に理由はない	わからない	回答計
総数	1,459	37.4	34.1	22.8	17.6	17.4	15.1	9.7	1.2	6.0	11.9	0.3	173.4
〔都市規模〕													
大都市	328	33.5	29.9	21.3	17.7	17.1	16.2	11.3	0.3	6.4	11.6	0.3	165.5
中都市	613	40.0	35.7	22.7	18.8	15.2	15.3	10.1	1.0	5.2	11.1	-	175.0
小都市	341	37.2	34.6	23.8	17.9	21.7	14.1	7.0	2.1	5.3	12.3	0.6	176.5
町村	177	35.6	35.0	23.7	13.0	17.5	14.7	10.2	1.7	9.6	14.7	0.6	176.3
〔性別〕													
男性	560	40.0	32.9	22.1	22.7	5.2	16.6	10.7	1.3	5.2	12.3	0.5	169.5
女性	899	35.7	34.8	23.1	14.5	25.0	14.2	9.0	1.1	6.6	11.7	0.1	175.9
〔年齢別〕													
55～59 歳	90	28.9	20.0	23.3	23.3	45.6	17.8	7.8	-	2.2	7.8	-	176.7
60～64 歳	244	33.2	25.0	16.4	22.5	27.0	25.4	11.9	0.8	6.6	8.6	-	177.5
65～69 歳	284	36.3	28.2	20.8	20.1	20.1	19.7	9.5	1.4	5.3	9.5	0.4	171.1
70～74 歳	329	44.7	33.7	19.1	20.1	11.9	13.4	9.1	0.6	4.6	14.0	0.3	171.4
75～79 歳	287	37.6	42.5	27.2	14.6	10.8	10.5	10.5	1.4	8.0	12.9	0.7	176.7
80 歳以上	225	35.6	46.7	31.6	7.1	8.9	5.8	8.0	2.2	7.6	16.0	-	169.3
60 歳以上（計）	1,369	37.9	35.0	22.7	17.2	15.6	15.0	9.8	1.2	6.3	12.2	0.3	173.2
〔最長職業〕													
農林漁業（家族従事者を含む）	67	26.9	56.7	40.3	7.5	11.9	3.0	4.5	6.0	7.5	10.4	-	174.6
自営業（商工サービス業・自由業）	164	37.2	34.1	28.0	14.0	17.7	7.3	4.9	4.9	6.1	7.3	0.6	162.2
常勤の被雇用者	819	39.9	33.1	21.1	19.4	13.1	18.4	10.7	0.5	7.0	12.5	0.1	175.8
契約・派遣・臨時・パート	178	43.8	34.3	22.5	21.9	20.8	7.9	7.3	-	5.1	9.6	-	173.0
内職	18	33.3	38.9	22.2	16.7	38.9	27.8	11.1	-	-	-	-	188.9
仕事に就いたことはない	16	18.8	25.0	18.8	25.0	43.8	12.5	6.3	-	12.5	18.8	-	181.3
専業主婦（夫）	194	26.8	29.9	20.1	12.4	29.9	17.0	13.4	0.5	2.6	17.0	0.5	170.1
その他	2	-	50.0	-	-	50.0	-	-	-	-	-	50.0	200.0
わからない	1	-	100.0	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	200.0
自営業者、家族従業者（計）	231	34.2	40.7	31.6	12.1	16.0	6.1	4.8	5.2	6.5	8.2	0.4	165.8
被用者（計）	1,015	40.5	33.4	21.4	19.8	14.9	16.7	10.1	0.4	6.5	11.7	0.1	175.6
無職（計）	210	26.2	29.5	20.0	13.3	31.0	16.7	12.9	0.5	3.3	17.1	0.5	171.0
Q1「現在の経済的な暮らし向き」													
ゆとりがあり、まったく心配ない	238	25.2	23.9	13.4	9.2	20.2	26.9	20.2	1.3	7.1	16.0	-	163.4
ゆとりはないが、まったく心配ない	776	34.3	35.6	18.2	15.3	17.7	17.0	10.3	1.5	6.4	14.4	0.4	171.1
家計にゆとりがなく、それほど心配である	326	47.9	37.1	35.0	25.5	14.7	6.7	3.7	0.6	3.4	5.8	0.3	180.7
家計が苦しく、非常に心配である	108	55.6	38.0	39.8	28.7	19.4	2.8	0.9	-	7.4	1.9	-	194.4
その他	5	-	20.0	20.0	40.0	-	-	-	-	40.0	20.0	-	140.0
わからない	6	50.0	16.7	16.7	-	-	-	-	-	-	33.3	-	116.7
心配はない（計）	1,014	32.1	32.8	17.1	13.9	18.2	19.3	12.6	1.5	6.6	14.8	0.3	169.3
心配である（計）	434	49.8	37.3	36.2	26.3	15.9	5.8	3.0	0.5	4.4	4.8	0.2	184.1

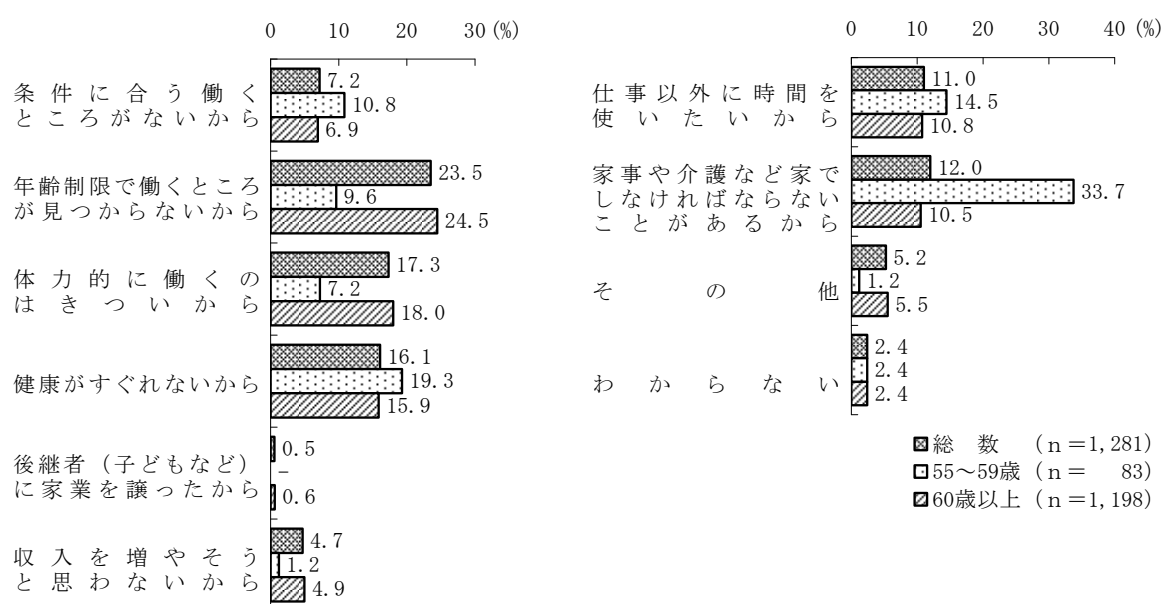
(7) 収入のある仕事をしていない最大の理由(Q6)

現在、収入のある仕事をしていない人に、「現在、収入のある仕事をしていない最も大きな理由は何か」尋ねてみると、総数、60歳以上では「年齢制限で働くところが見つからないから」が総数で23.5%、60歳以上で24.5%と最も高く、以下、「体力的に働くのはきついから」が総数で17.3%、60歳以上で18.0%、「健康がすぐれないから」が総数で16.1%、60歳以上で15.9%などの順となっている。

55～59歳では「家事や介護など家でしなければならないことがあるから」が33.7%と最も高く、以下、「健康がすぐれないから」が19.3%、「仕事以外に時間を使いたいから」が14.5%、「条件に合う働くところがないから」が10.8%、「年齢制限で働くところが見つからないから」が9.6%などの順となっている。

55～59歳と60歳以上を比較すると、「年齢制限で働くところが見つからないから」は55～59歳より60歳以上で14.9ポイント、「体力的に働くのはきついから」も10.8ポイント高くなっている。一方、「家事や介護など家でしなければならないことがあるから」は、55～59歳が60歳以上を大きく上回っている。

図2-7-1 収入のある仕事をしていない最大の理由(Q6)

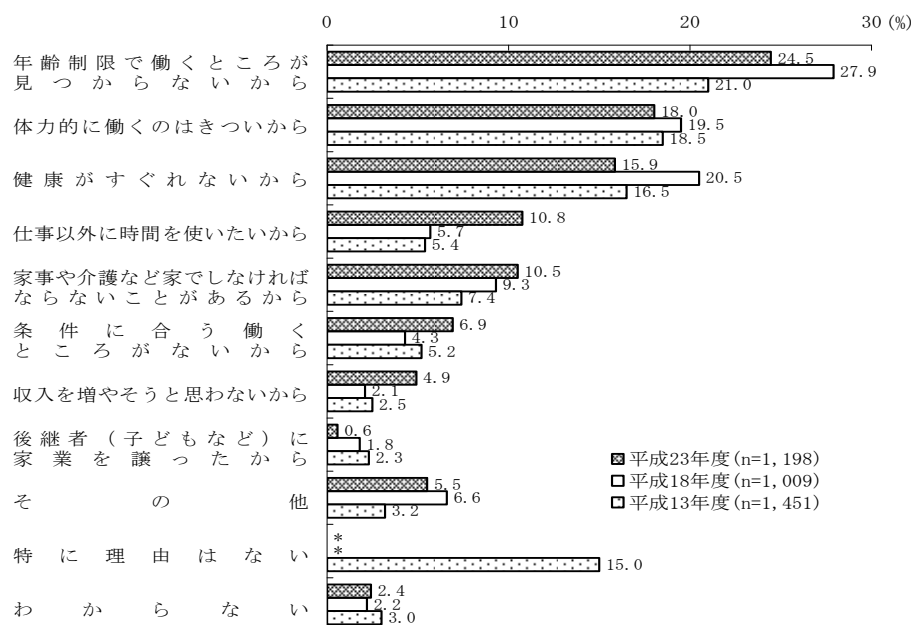


55～59歳については、該当数が少ないため、前回調査との比較は控える。

60歳以上を時系列で見ると、「年齢制限で働くところが見つからないから」、「健康がすぐれないから」は前回調査より割合が減少している。一方、「仕事以外に時間を使いたいから」は前回調査より割合が大きく増加し、「家事や介護など家でしなければならないことがあるから」は割合が増加傾向を示している。

(図次ページ参照)

図2-7-2 収入のある仕事をしていない最大の理由（Q6）（時系列比較、60歳以上）



(注) *は調査時に選択肢がなく、データが存在しないもの

〈総数〉（表2-7-1）

都市規模別にみると、「年齢制限で働くところが見つからないから」は中都市(27.5%)で高くなっている。

性別にみると、「家事や介護など家でしなければならないことがあるから」は男性(2.7%)より女性(17.8%)で、「条件に合う働くところが見つからないから」は女性(4.2%)より男性(12.1%)で、それぞれ高くなっている。

年齢別にみると、「年齢制限で働くところが見つからないから」は65歳以上では2割以上を占めており、特に70～74歳(34.0%)では、3人に1人が回答している。また、「家事や介護など家でしなければならないことがあるから」は年齢が高くなるほど割合が低くなっている。

最長職業別では、「体力的に働くのはきついから」は農林漁業(38.3%)で高くなっている。

〈55～59歳〉（表2-7-2）

都市規模別、最長職業別については、該当数が少ないため、数値は参考値にとどめ、分析は控える。

性別にみると、「家事や介護など家でしなければならないことがあるから」は女性(38.6%)で高くなっている。

〈60歳以上〉（表2-7-3）

都市規模別にみると、「年齢制限で働くところが見つからないから」は中都市(28.8%)で高くなっている。

性別にみると、「家事や介護など家でしなければならないことがあるから」は男性(2.5%)より女性(15.8%)で、「条件に合う働くところが見つからないから」は女性(3.6%)より男性(12.0%)で、それぞれ高くなっている。

最長職業別では、「年齢制限で働くところが見つからないから」は契約・派遣・臨時・パート(30.3%)、常勤の被雇用者(26.2%)、自営業(24.0%)で高くなっている。

(8) 収入のある仕事をしてきた年齢(Q7)

現在、収入のある仕事をしていない人に、「収入を得られる仕事をしてきたのは何歳くらいまでか」尋ねてみると、総数では「60歳まで」が30.2%と最も高く、以下、「65歳まで」が20.2%、「50歳未満」が12.3%、「55歳まで」が11.8%などの順となっている。

55～59歳では「50歳未満」が43.3%と最も高く、以下、「55歳まで」が35.6%、「50歳まで」が13.3%などの順となっている。

60歳以上では「60歳まで」が32.1%と最も高く、以下、「65歳まで」が21.5%、「50歳未満」と「55歳まで」が10.2%などの順となっている。

55～59歳を前回調査と比較すると、「50歳未満」が増加しているが、「50歳まで」は減少している。

60歳以上を時系列でみると、「収入を得られる仕事をしたことはない」で減少傾向がみられるが、全体的にはあまり大きな差はみられない。

表2-8-1 収入のある仕事をしてきた年齢(Q7) (時系列比較) (%)

		該当数	50歳未満	50歳まで	55歳まで	60歳まで	65歳まで	70歳まで	75歳まで	76歳以上	収入を得る仕事をしたことはない	わからない
平成23年度	総数	1,459	12.3	3.8	11.8	30.2	20.2	9.0	3.2	1.3	6.6	1.6
	55～59歳	90	43.3	13.3	35.6	2.2	-	-	-	-	3.3	2.2
	60歳以上	1,369	10.2	3.1	10.2	32.1	21.5	9.6	3.4	1.4	6.8	1.6
平成18年度	55～59歳	106	24.5	20.8	37.7	6.6	-	-	-	-	4.7	5.6
	60歳以上	1,174	7.2	3.5	11.6	29.2	21.4	10.6	3.5	2.1	8.0	3.0
平成13年度	60歳以上	1,451	8.4	5.2	9.6	30.2	21.2	8.6	2.5	1.6	11.4	1.3

〈総数〉(表2-8-2)

性別にみると、「50歳未満」から「55歳まで」は男性より女性で高いが、「60歳まで」から上の年齢では、女性より男性で高くなっている。

年齢別にみると、60～64歳では、「60歳まで」(42.6%)を4割以上で回答している。65～69歳では、「60歳まで」(35.2%)と「65歳まで」(29.2%)で6割半ばとなっている。

最長職業別では、「50歳未満」は専業主婦(33.5%)で、「55歳まで」は契約・派遣・臨時・パート(20.2%)で、「60歳まで」は常勤の被雇用者(37.0%)で、「65歳まで」は自営業(29.9%)で、「70歳まで」は農林漁業(20.9%)で、それぞれ高くなっている。

〈55～59歳〉(表2-8-3)

性別にみると、「50歳未満」は女性で高くなっている。

最長職業別では、該当数が少ないため、表の数値は参考値にとどめ、分析は控える。

〈60歳以上〉(表2-8-4)

性別にみると、「50歳未満」から「55歳まで」は男性より女性で高いが、「60歳まで」から上の年齢では、女性より男性で高くなっている。

最長職業別では、「50歳未満」は専業主婦(29.7%)、「55歳まで」は契約・派遣・臨時・パート(15.8%)、「60歳まで」は常勤の被雇用者(39.2%)、「65歳まで」は自営業(30.2%)、「70歳まで」は農林漁業(20.9%)で、それぞれ高くなっている。

表 2-8-2 収入のある仕事をしてきた年齢(Q7)

(%)

総 数	該当数	50歳未満	50歳まで	55歳まで	60歳まで	65歳まで	70歳まで	75歳まで	76歳以上	収入を得る仕事をしたことはない	わからない	
	総 数	1,459	12.3	3.8	11.8	30.2	20.2	9.0	3.2	1.3	6.6	1.6
〔性別〕												
男性	560	1.4	1.4	6.6	34.8	31.8	15.9	4.5	1.6	0.2	1.8	
女性	899	19.0	5.2	15.0	27.4	13.0	4.7	2.4	1.1	10.6	1.6	
〔年齢別〕												
55～59歳	90	43.3	13.3	35.6	2.2	-	-	-	-	3.3	2.2	
60～64歳	244	18.9	7.8	14.3	42.6	7.0	-	-	-	7.8	1.6	
65～69歳	284	8.5	1.4	12.7	35.2	29.2	3.9	-	-	7.4	1.8	
70～74歳	329	9.1	2.7	7.3	31.3	27.7	14.9	1.5	-	4.3	1.2	
75～79歳	287	8.4	2.4	7.0	28.2	23.0	15.3	5.9	1.4	6.6	1.7	
80歳以上	225	7.1	1.8	11.1	22.7	16.9	12.0	11.1	6.7	8.9	1.8	
60歳以上(計)	1,369	10.2	3.1	10.2	32.1	21.5	9.6	3.4	1.4	6.8	1.6	
〔最長職業〕												
農林漁業(家族従事者を含む)	67	3.0	7.5	7.5	22.4	19.4	20.9	9.0	7.5	-	3.0	
自営業(商工サービス業・自由業)	164	4.9	5.5	6.1	26.2	29.9	16.5	5.5	4.9	-	0.6	
常勤の被雇用者	819	9.9	2.4	12.7	37.0	23.2	9.3	3.1	0.6	-	1.8	
契約・派遣・臨時・パート	178	11.8	8.4	20.2	33.1	16.9	5.6	3.4	-	-	0.6	
内職	18	11.1	11.1	11.1	33.3	27.8	-	5.6	-	-	-	
仕事に就いたことはない	16	-	-	-	-	-	-	-	-	93.8	6.3	
専業主婦(夫)	194	33.5	2.1	7.7	7.2	4.1	1.5	-	0.5	41.8	1.5	
その他	2	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-	50.0	
わからない	1	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	
自営業者、家族従業者(計)	231	4.3	6.1	6.5	25.1	26.8	17.7	6.5	5.6	-	1.3	
被用者(計)	1,015	10.2	3.6	14.0	36.3	22.2	8.5	3.2	0.5	-	1.6	
無職(計)	210	31.0	1.9	7.1	6.7	3.8	1.4	-	0.5	45.7	1.9	

表 2-8-3 収入のある仕事をしてきた年齢(Q7)

(%)

55 ~ 59 歳	該当数	50歳未満	50歳まで	55歳まで	60歳まで	65歳まで	70歳まで	75歳まで	76歳以上	収入を得る仕事をしたことはない	わからない
	総 数	90	43.3	13.3	35.6	2.2	-	-	-	3.3	2.2
〔性別〕											
男性	13	15.4	23.1	53.8	7.7	-	-	-	-	-	-
女性	77	48.1	11.7	32.5	1.3	-	-	-	-	3.9	2.6
〔最長職業〕											
農林漁業(家族従事者を含む)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
自営業(商工サービス業・自由業)	2	-	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-
常勤の被雇用者	48	43.8	12.5	39.6	2.1	-	-	-	-	-	2.1
契約・派遣・臨時・パート	20	25.0	15.0	55.0	5.0	-	-	-	-	-	-
内職	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
仕事に就いたことはない	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
専業主婦(夫)	19	68.4	5.3	5.3	-	-	-	-	-	15.8	5.3
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
わからない	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
自営業者、家族従業者(計)	2	-	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-
被用者(計)	69	37.7	14.5	43.5	2.9	-	-	-	-	-	1.4
無職(計)	19	68.4	5.3	5.3	-	-	-	-	-	15.8	5.3

表 2-8-4 収入のある仕事をしてきた年齢(Q7)

(%)

60 歳 以 上	該当数	50歳未満	50歳まで	55歳まで	60歳まで	65歳まで	70歳まで	75歳まで	76歳以上	収入を得る仕事をしたことはない	わからない
	総 数	1,369	10.2	3.1	10.2	32.1	21.5	9.6	3.4	1.4	6.8
〔性別〕											
男性	547	1.1	0.9	5.5	35.5	32.5	16.3	4.6	1.6	0.2	1.8
女性	822	16.3	4.6	13.4	29.8	14.2	5.1	2.7	1.2	11.2	1.5
〔最長職業〕											
農林漁業(家族従事者を含む)	67	3.0	7.5	7.5	22.4	19.4	20.9	9.0	7.5	-	3.0
自営業(商工サービス業・自由業)	162	4.9	4.9	5.6	26.5	30.2	16.7	5.6	4.9	-	0.6
常勤の被雇用者	771	7.8	1.8	11.0	39.2	24.6	9.9	3.2	0.6	-	1.8
契約・派遣・臨時・パート	158	10.1	7.6	15.8	36.7	19.0	6.3	3.8	-	-	0.6
内職	17	11.8	5.9	11.8	35.3	29.4	-	5.9	-	-	-
仕事に就いたことはない	16	-	-	-	-	-	-	-	-	93.8	6.3
専業主婦(夫)	175	29.7	1.7	8.0	8.0	4.6	1.7	-	0.6	44.6	1.1
その他	2	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-	50.0
わからない	1	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-
自営業者、家族従業者(計)	229	4.4	5.7	6.1	25.3	27.1	17.9	6.6	5.7	-	1.3
被用者(計)	946	8.2	2.9	11.8	38.7	23.8	9.1	3.4	0.5	-	1.6
無職(計)	191	27.2	1.6	7.3	7.3	4.2	1.6	-	0.5	48.7	1.6